

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	高知県安芸郡安田町						
地域内総人口（人）	2,177						
地域総面積（km ² ）	52.36						
地域の要件	山村	過疎					
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	2021年4月1日
終了年月日	2026年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和8年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和元年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%
	農業集落排水施設等	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%
	合併処理浄化槽等	621人	23.6%	763人	31.5%	742人	34.1%
	小計：汚水衛生処理人口	621人	23.6%	763人	31.5%	742人	34.1%
	単独処理浄化槽等	277人	10.5%	275人	11.3%	275人	12.6%
	非水洗化人口	1,738人	65.9%	1,386人	57.2%	1,160人	53.3%
	小計：未処理人口	2,015人	76.4%	1,661人	68.5%	1,435人	65.9%
	合計：総人口	2,636人	100.0%	2,424人	100.0%	2,177人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	1,913キロリットル		920キロリットル		790キロリットル	
	浄化槽汚泥量	775キロリットル		1,010キロリットル		974キロリットル	
	合計	2,688キロリットル		1,930キロリットル		1,764キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	広報等での補助制度の周知や、地区での学習会で補助制度の説明を行った。
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

人口減が想定よりも早いペースで推移しており、人口のみで見ると目標値を下回っているが、構成比については、目標値を若干上回る結果となっており、目標は達成することができたと判断される。令和8年度以降も引続き、污水衛生処理人口の増加に努めていく。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽において生活排水処理施設の整備が行われている。 計画全体としては汚水処理人口率が目標値31.5%に対し、実績は34.1%と目標を上回っており、当該計画により公共用水域の水質改善及び公衆衛生は着実に向上していると考えられる。 今後も、単独処理浄化槽からの転換も含めて、合併処理浄化槽の設置整備により汚水処理人口の更なる増加を図られたい。

※令和7年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。